

令和5年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立柳沢小学校

全国学力学習状況調査（小学校第6学年）

| | 課題が見られた問題の概要 | 正答率 | 調査結果を踏まえた成果 | 調査結果を踏まえた課題 |
|----|------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語 | 【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したのとして適切なものを選択する。（くらべて） | 89.3 | ○情報の取り扱い方に関する事項において、タブレット学習や教科横断型学習の実践により成果が見られた。 | ○漢字の読み書きに関して全国平均を下回っているため、朝学習や家庭学習などで学習時間を確保し改善を図る。 ○自分の考えを上手に書くことについて課題が見られるため、典型的な構成例を示し、それに沿って自分の考えを書く学習を適宜取り入れ、改善を行う。 |
| | 【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す。（いがい） | 69.3 | | |
| | 【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く | 37.3 | | |
| 算数 | 二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、わかることを書く。 | 50.7 | ○数と計算の領域においては、少人数でのきめ細かな指導、適用問題を多く取り入れたことで成果が見られた。 | ○長文の文章問題の読解に課題が見られるため、文章問題の内容を的確に把握する力を伸ばす。また、自分の考えを整理しながら書く学習を意図的に取り入れ、丁寧に指導し改善を図る。 |
| | テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く。 | 30.7 | | |

調査結果を踏まえた本校の状況

本校の「全国学力・学習状況調査」結果において、国語科は、全国および東京都の平均値を上回った。また、算数科は全国の平均値を上回り、東京都の平均値と同じであった。

国語科においては、文章の内容を的確に押さえ自分の考えを簡潔に記述したりする力がある。一方、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方について、正しい解答選択を苦手とする傾向が見られた。日頃から文中の語句・語彙（漢字含）について丁寧に指導し、理解させ知識として定着させる指導が必要である。

算数科においては、「数と計算」領域における問題形式が選択式・短答式なものや「図形」領域における基礎的な力が十分に身に付いている。一方、「データの活用」領域では、グラフを比較し、違いを見出したり、基本的な学習言語の理解が足りなかったりと基礎的な知識理解、グラフを扱う基本的な能力が不足している。様々なグラフを作成したり、情報を読み取ったりするような学習活動を充実させていく必要がある。